

# 重点的に取り組む主な経営課題

経営課題 1

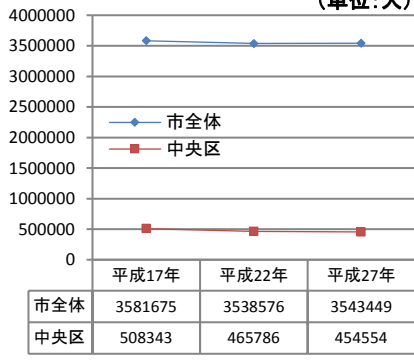
【人が集い、にぎわうまちづくりの推進】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞

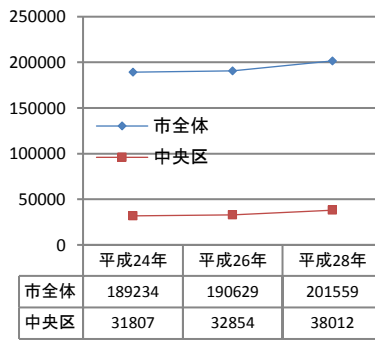
商店会や企業等と連携・協働して中央区の持つ商店街の魅力や歴史的・文化的資源等を発信することにより、より多くの人が集い、区内全域がにぎわっている状態

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

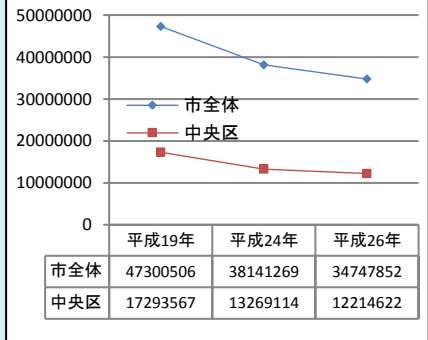
中央区の昼間人口の推移(国勢調査による)  
(単位:人)



中央区の事業所数の推移(単位:か所)



中央区の年間商品販売額の推移  
(単位:百万円)



計画

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

- ・中央区は、古くから大阪の経済・文化の中心地として内外から多くの人々が訪れるまちであり、豊富な経済活動で大阪の発展を支えてきた。しかし、近年、事業所数については若干回復傾向にはあるものの、昼間人口・年間商品販売額の減少傾向は継続しており、改善の兆しが見えない。
- ・外国人観光客が急増し、適切な情報の提供など、受け入れ環境の整備が求められている。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・まちのにぎわいづくりに向け、情報発信サイトを充実させるとともに、商店会や企業、まちづくり団体、地域等と連携し、様々なイベントを効果的に行い、中央区の魅力を積極的に発信していく必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

自己評価

めざす成果及び戦略 1-1 【人が集い、にぎわいうまちづくり】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・中央区内のイベントを効果的に連携させるとともに、にぎわい情報サイトを 活用して積極的に発信することにより、区内のにぎわいが創出されて いる状態		戦略<中期的な取組の方向性> ・中央区のまちなにぎわいを創出するため、観光・商業・歴史等、様々な 情報を総合的かつ効果的に発信するとともに、商店会・企業等と協働し、 にぎわい情報サイトの機能拡充・積極的PRに努める。	
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ※重点目標 ・にぎわいスクエアの来場者数 平成32年度までに平成26年度実績(24,000人)の30%増			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	A:順調 B:順調でない			
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須

具体的取組 1-1-1 【ミナミのにぎわい創出】

28決算額 6,653千円 29予算額 6,755千円 30予算額 6,755千円

計画	取組内容 中央区内で実施するイベントの認知度向上やイベント主催者間等の情報 交換及びネットワークの構築、さらには大阪ミナミのにぎわいを創出する ため、とんぼりパークウォークを活用した取組を進める。 ・地元商店会等との協力・連携のもとイベントを開催 1回 ・イベント一覧MAP(多言語対応)の作成 1回		業績目標(中間アウトカム) イベントを通してとんぼりパークウォークの魅力を感じた参加者の割合 70%以上 【撤退基準】 上記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。	
	前年度までの実績 平成29年度実績 ・にぎわいスクエア開催 1回 平成28年度実績 ・にぎわいスクエア開催 1回			
中間振り返り	業績目標の達成状況			課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)		
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)		

28決算額 5,335千円 | 29予算額 5,335千円 | 30予算額 5,335千円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	中央区のまちなぎわいを創出するため、観光・商業・歴史等の情報を発信する。 ・中央区の観光資源をデータベース化 ・外国人観光客への役立つ情報の掲載（随時） ・「広報ちゅうおう」へのにぎわい情報サイトの二次元コードの掲載 1回		にぎわい情報サイト（ホームページ）の年間ページビュー数 平成28年度実績(47,556件)の3%増 【撤退基準】 上記目標が平成28年度実績の50%未満であれば、事業を再構築する。	
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)		
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)		

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題2

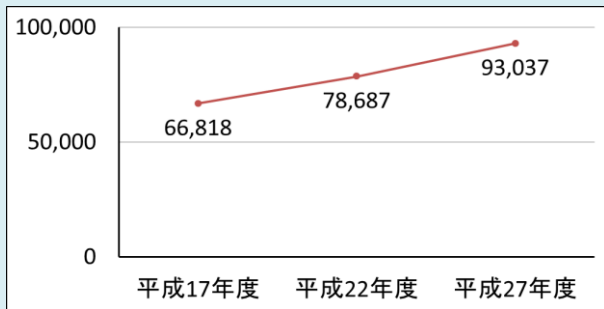
【地域社会における住民自治の拡充】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

区内全域において、人と人とのつながりづくりを進め、地域コミュニティを再生させることにより、豊かなコミュニティを形成し、区民等による自律的な地域運営が進められている状態

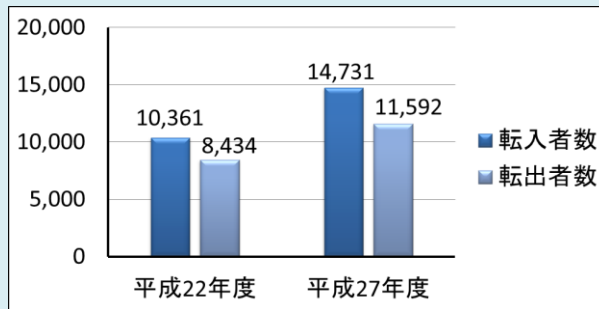
現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

◆中央区の常住人口の推移(国勢調査による)



(参考:平成29年9月1日現在 96,347人<推計人口>)

◆中央区の転出入の状況(区政概要による)



◆地域活動協議会の状況

平成24年度末までに設立された地域活動協議会が、行政と中間支援組織との連携した支援を受けながら、市民による自律的な運営をめざして活動している。

計

画

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

- ・中央区では、急激なマンション建設により、常住人口は急増しているが、住民の転出入が激しく、新しい住民と元から暮らす住民のコミュニケーションが難しくなるなど、人と人とのつながりの希薄化が進んでいる。
- ・新旧住民や企業関係者など多様な主体が様々な地域課題に取り組む自律的な地域運営を推進するために地域活動協議会が設立されて4年半余りになるが、自律的運営に必要なつながりの拡充や地域課題の取組等について必要なレベルまで達していない。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・少子高齢化が進展する中で、人と人とのつながりの希薄化が進んでいることから、地域コミュニティの再生に向けた新たな取組が必要である。
- ・区民による自立的な地域運営を推進するため、区役所と中間支援組織が連携し、地域の特性や実情に応じた支援を実施する必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

自己評価

めざす成果及び戦略 2-1 【豊かなコミュニティづくりの促進】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定>		戦略<中期的な取組の方向性>	
	・大きな公共を担う活力ある地域社会づくりを構築するため、人と人が出会いつながる機会を作り、地域コミュニティの再生を図ることにより、身近な地域の中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感できる状態 アウトカム<めざす状態を数値化した指標> 身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合 平成33年度までに40%以上		・地域の特性を活かしたコミュニティ活動・まちづくりを、より幅広い住民の参加のもと、身近な地域の中で生活課題等の解決に取り組むことができる豊かなコミュニティづくりを促進する。	
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須			
	A: 順調 B: 順調でない			
戦略の進捗状況		a: 順調 b: 順調でない		

具体的取組 2-1-1 【人と人とのつながりづくり】

28決算額 10,166千円 29予算額 9,658千円 30予算額 8,982千円

計画	取組内容		業績目標 (中間アウトカム)	
	・若い世代をはじめ多くの人に、つながりづくりの大切さに気付き、興味を持ってもらえるよう、コミュニティの大切さについての情報発信を行う。 ・近所に住む人同士が集まり、福祉や防災といった身近な課題に気付き日常から顔見知りになりつながっていることの大切さを感じてもらえるよう、防災訓練などの機会を捉えて啓発を行う。 ・多くの区民が集い、交流し、相互の連帯感を高めるため、区民まつりや区民スポーツカーニバル等のコミュニティ育成・区民レクリエーション事業を実施する。		身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合 32.5%以上 【撤退基準】 上記目標が15%未満であれば、事業を再構築する。	
自己評価	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成			
自己評価	戦略に対する取組の有効性		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)			
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況 ①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)		

めざす成果及び戦略 2-2 【地域課題の解決に向けた多様な協働の促進】

計画	めざす状態<概ね3～5年間で念頭に設定>	戦略<中期的な取組の方向性>
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標>	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度   個別   全体	
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	A:順調 B:順調でない		

具体的取組 2-2-1 【地域実情に応じたきめ細かな支援】

28決算額 57,381千円 29予算額 57,557千円 30予算額 59,057千円

計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム)
	前年度までの実績	

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	戦略に対する取組の有効性	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	A:順調 B:順調でない	



具体的取組 2-2-2

【地域活動協議会の認知度向上に向けた支援】

28決算額 ー円 29予算額 ー円 30予算額 ー円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動協議会の認知度向上に向け、地域活動情報を収集し、区広報紙や区ホームページ、Twitter等で情報発信を行う。</li> <li>地域で作成している地域活動協議会紹介パンフレットの各種地域行事での配布や、ホームページやフェイスブックなどICTを活用した情報発信を行うよう、中央区まちづくりセンターを通じて各地域活動協議会に対し助言する。</li> </ul>	地域活動協議会を知っている区民の割合 35%以上 【撤退基準】上記割合が15%未満となった場合、事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成28年度実績 ・地域活動協議会紹介パンフレットの作成支援(8地域) ・ホームページやフェイスブックなどICTを活用した情報発信に関する支援(7地域) ・地域のイベントや活動などに関する情報を広報紙に掲載 12回 ・Twitterによる地域情報の発信 1,367回

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組 2-2-3

【地域活動協議会に期待する準行政的機能の趣旨についての理解度向上に向けた支援】

28決算額 ー円 29予算額 ー円 30予算額 ー円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動協議会に期待する準行政的機能について、地域活動協議会の役員や構成団体の方をはじめ地域住民の理解が深まるよう引き続き機会あるごとに積極的に発信する。</li> <li>地域活動協議会に期待する準行政的機能について、地域を担当する職員全員を対象にeラーニングの実施などにより改めて職員の理解を促進する。</li> </ul>	地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会には準行政的機能を備えている必要があることを認識している割合 80%以上 【撤退基準】上記割合が50%未満となった場合、事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成28年度実績 ・地域活動協議会の意義と補助金の性質に関する説明の機会 1回 平成27年度実績 ・地域活動協議会の意義と補助金の性質に関する説明の機会 1回

中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性 ○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)		

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組 2-2-4

【地域活動協議会に期待する総意形成機能の趣旨についての理解度向上に向けた支援】

28決算額 ー 円 29予算額 ー 円 30予算額 ー 円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動協議会が総意形成機能を期待されていることや、そのために必要な要件について、役員や構成団体はもとより地域住民の方の理解が深まるよう機会あるごとに積極的に発信する。</li> <li>・地域を担当する職員全員を対象にeラーニングの実施などにより改めて職員の理解を促進する。</li> <li>・各地域活動協議会が総意形成機能を発揮するために備えておくべき要件を満たしているか定期的に確認する。</li> </ul>		総意形成機能を認識している地域活動協議会の構成団体の割合 平成30年度：80%以上 【撤退基準】上記割合が50%未満となった場合、事業を再構築する。	
			前年度までの実績	
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)		

具体的取組 2-2-5

【多様な主体のネットワーク拡充への支援】

28決算額 ー 円 29予算額 ー 円 30予算額 ー 円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動協議会活性化セミナーの開催など、多様な活動主体間の連携協働に向けた交流やコーディネートの場の提供を行う。</li> <li>・多様な活動主体との新たな連携が促進されるよう、地縁型団体の長が集う場などにおいて、連携協働のメリットが実感できるよう事例の情報提供を行うとともに、適切な支援メニューを選択・提供する。</li> <li>・多様な活動主体間の交流の場への参画などにより、テーマ型団体とのつながりをつくるとともに、「市民活動総合ポータルサイト」の活用などにより、テーマ型団体も対象とした支援情報の提供に取り組む。</li> <li>・SNSなどのICTを活用した、地域住民への情報発信や対話を進める取組を進め、市民同士または市民と行政がつながり、様々な地域課題を市民協働で解決するきっかけづくりを行うとともに、地域活動への新たな担い手の参画を促進する。</li> </ul>		・新たに地域活動協議会とNPO及び企業等とが連携した取組を行った件数 平成30年度:5件 【撤退基準】上記件数が0件となった場合、事業を再構築する。  ・区に開設している市民活動支援情報提供窓口への問合せ件数 平成30年度:29年度の窓口への問合せ件数(平年度化したもの)の10%増 【撤退基準】上記件数が平成29年度実績の50%未満であれば、事業を再構築する。	
			前年度までの実績	
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)	
自己評価	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	戦略に対する取組の有効性		○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)	
戦略の進捗状況		a: 順調 b: 順調でない		



めざす成果及び戦略 2-3 【地域に根差した活動の活性化】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・身近な地域課題をより多くの住民間で共有し、その解決に向けた活動が活発に行われている状態		戦略<中期的な取組の方向性> ・住民に最も身近な自治会・町内会単位の活動支援に取り組む。 ・地域活動の担い手の拡大を図るため、区民に対して地域活動の必要性や重要性を啓発し、活動への参加を促す。 ・幅広い層の人たちに活動への参加を促す。 ・地域の方々が感じている「やらされ感」「負担感」を解消し、問題意識や意欲をもって活動していただけるよう取り組む。 ・地域活動が形骸化することのないよう、本来の活動目的を改めて確認するきっかけとなる機会づくりに取り組む。	
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> 各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じている区民の割合 平成33年度までに50%以上			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須			
	A: 順調 B: 順調でない			
戦略の進捗状況		a: 順調 b: 順調でない		

具体的取組 2-3-1 【自治会・町内会単位の活動への支援】

		28決算額	— 円	29予算額	— 円	30予算額	— 円
計画	取組内容	業績目標 (中間アウトカム) 自治会・町内会単位の活動に参加している区民のうち、自治会・町内会単位の活動に対する市からの支援が役に立っていると感じている区民の割合 平成30年度 : 50% 【撤退基準】上記割合が20%未満であれば、事業を再構築する。					
		前年度までの実績					
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	戦略に対する取組の有効性	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成 ○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	戦略に対する取組の有効性	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成 ○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)					

具体的取組2-3-2

【担い手不足の解消に向けた支援】

28決算額 ー円 29予算額 ー円 30予算額 ー円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の担い手になることを期待して養成してきた地域リーダーなどの意向をふまえ、更なる活躍促進を図る。</li> <li>・誰もが気軽に参加できる場の情報など、身近な地域において活動のきっかけとなる情報を収集・発信し、地域活動への参加を呼びかける。</li> <li>・若い世代の地域活動への参加を呼びかけるため、SNSなどのICTを活用した情報発信に取り組む。</li> <li>・地縁による団体やグループへの加入を促進するため、地域のつながりの基礎となる自治会・町内会などのつながりづくりのための活動（マンション内での活動を含む）を支援する。</li> </ul>	地縁型団体が行う活動に参加している区民の割合 平成30年度：15%以上 【撤退基準】 上記割合が5%未満であれば、事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成28年度実績 ・地域活動協議会紹介パンフレットの作成支援(8地域) ・ホームページやフェイスブックなどICTを活用した情報発信に関する支援(7地域) ・地域のイベントや活動などに関する情報を広報紙に掲載 12回 ・Twitterによる地域情報の発信 1,367回

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組2-3-3

【負担感の解消及び活動の充実に向けた支援】

28決算額 ー円 29予算額 ー円 30予算額 ー円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱する市民の方に委嘱の趣旨・目的をしっかりと理解していただくための取組を進めるとともに、一人に多くの委嘱をすることがないように配慮する。</li> <li>・補助金を出すことによって具体的な活動内容まで指定しているものではないことについて、地域活動協議会の会議の場などで説明を行うなど、地域活動協議会のメンバーの理解促進を図る。</li> <li>・各団体に対して、活動が形骸化することのないよう活動目的を改めて確認する機会を作るなどの支援を行う。</li> <li>・身近な地域課題に取り組む団体などの運営に関する情報を一元的に発信する「市民活動総合ポータルサイト」に、各団体の登録及びその積極的な活用を促す。</li> <li>各団体の活動が持続的なものとなるよう、誰もが気軽に参加(短時間や短期間だけ活動に参加)できるための仕組みや工夫に関する情報を提供するなどの支援を行う。</li> </ul>	各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じている区民の割合 平成30年度：40%以上 【撤退基準】 上記割合が20%未満であれば、事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成28年度実績 ・地域活動協議会の意義と補助金の性質に関する説明の機会 1回 ・市民活動総合ポータルサイトに関する情報提供の機会 1回 ・地域活動協議会活性化セミナーの開催 1回 ・地域活動協議会活動ヒント集の発行

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	

めざす成果及び戦略 2-4 【多様な市民活動に対する支援】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・地域活動協議会を核として様々な市民活動団体が幅広く参画し、自律的に地域運営がなされている状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・様々な市民活動団体が幅広く参画する地域活動協議会の自律的運営に向けては、中間支援組織と連携して支援する。 ・市民活動団体が求める地域資源情報や支援メニューの情報を一元的に収集・管理し、適時・適切な情報提供を行うなど自律した地域運営を支援する。 ・市民活動を持続的に実施していくために必要となる自主財源の確保について、その手法のひとつであるCB/SB化、社会的ビジネス化を的確に支援する。		
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている区民の割合 平成33年度までに50%以上			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須		
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない		
	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須			

具体的取組 2-4-1 【まちづくりセンター等による支援】

28決算額 20,209千円 29予算額 16,852千円 30予算額 13,131千円

計画	取組内容 ・地域活動協議会の立上げを重点的に進めるために行ってきたまちづくりセンター等による支援について、地域活動協議会の自律運営に向けた支援へと転換していくため、支援内容の見直しを行い、地域の実情に即した支援を行う。	業績目標 (中間アウトカム) まちづくりセンター等の支援を受けた団体が、支援に満足している割合 80%以上 【撤退基準】 上記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。		
		前年度までの実績 平成28年度実績 ・地域活動協議会の運営及び活動に対する支援 区内全地域 ・地域カルテのデータ更新 1回 平成27年度実績 ・地域活動協議会の運営及び活動に対する支援 区内全地域 ・地域カルテのデータ更新 1回		
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須		
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)		
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須		
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須		
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)		

具体的取組 2-4-2

【派遣型地域公共人材の活用促進】

28決算額 ー円 | 29予算額 ー円 | 30予算額 ー円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い市民活動団体を対象として構築してきた派遣型地域公共人材機能について、ホームページやSNSを活用した情報発信を行い、積極的な活用を促す。</li> <li>派遣型地域公共人材の活用事例を収集・整理し、活用方策とともに区ホームページ等でわかりやすく情報発信を行う。</li> </ul>	派遣型の地域公共人材が活用された件数 平成30年度：1件 【撤退基準】 上記件数が0件であれば、事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成28年度実績 4件 平成27年度実績 6件

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組 2-4-3

【地域活動のコミュニティビジネス化等の支援】

28決算額 ー円 | 29予算額 ー円 | 30予算額 ー円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>区役所職員がまちづくりセンター等の職員と連携して、持続的な活動のための財源確保の手法としてのCB/SB化、社会的ビジネス化を的確に支援する。</li> <li>CB/SB化、社会的ビジネス化事例に関する情報発信を積極的に行い、CB/SB化、社会的ビジネス化の機運を高める。</li> </ul>	区が関与したCB/SB起案件数及び、社会的ビジネス化事業創出件数【平成30年度】 2件 【撤退基準】 事業創出件数が0件となった場合、事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成28年度実績 ・CB/SB化、社会的ビジネス化の機運を高めるための説明会 1回 平成27年度実績 ・CB/SB化、社会的ビジネス化の機運を高めるための説明会 1回

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)	

# 重点的に取り組む主な経営課題

経営課題3

【安全・安心で快適なまちづくりの推進】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞

市民・商店会・企業等との連携・協働により、すべての区民等に対して安全・安心で快適な生活環境が実現できている状態

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

- ・阪神・淡路大震災や東日本大震災は、被害を軽減する上で自助・共助による取組が大変重要であるという教訓を残した。
- ・南海トラフ巨大地震では大規模な被害が想定されている。
- ・近年、日本各地で大雨等による大規模な自然災害が発生している。

地域自主防災組織の年度別設立数

平成24年度	平成25年度	平成26年度	合計
5	4	16	25(全地域)

※中央区における地域(連合)数:25地域(連合)

「地区防災計画」作成に向けたワークショップ開催支援数(地域)

平成27年度	平成28年度	合計
5	20	25(全地域)

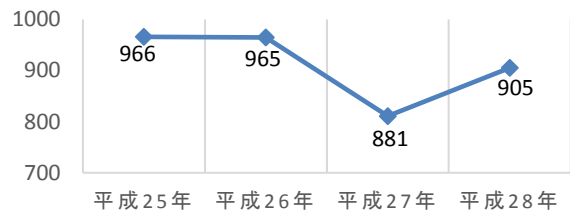
※中央区における地域(連合)数:25地域(連合)

中央区の街頭における犯罪発生件数(市民局調べ)

(単位:件)

	平成26年	平成27年	平成28年
発生件数 (内自転車盗)	2,241 (1,464)	2,063 (1,539)	2,096 (1,426)

中央区駅周辺における放置自転車台数(単位:件)  
(中央区全駅自転車利用実態調査【建設局資料】より)



計画

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

- ・大規模災害時の被害を軽減させるためには、行政の防災対策(公助)に加えて、自助・共助による地域防災力の向上が必要である。しかし、自主防災組織が設立されて間もない地区もあり、地域防災力の更なる向上が必要である。
- ・街頭における犯罪の約7割を占める自転車盗のうち、約3割が無施錠であり、被害者は来街者が多いことから、来街者等の防犯意識の向上や、犯罪発生抑止対策が必要である。また、ひったくり及び車上ねらいの発生件数は昨年より増加しており、更なる対策が必要である。
- ・環境悪化の要因である放置自転車については、減少傾向にあるが、いくつかの地域においては依然として多く自転車が放置されている。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・地域防災力の向上をめざして、区内全地域で地域自主防災組織による「地区防災計画」に基づいた避難所開設運営訓練等の継続実施や、避難行動要支援者支援の取組など、自助・共助による取組の促進を図る必要がある。災害時の迅速な対応を可能にするため、関係機関や事業所等との連携を強化するとともに、区役所の防災対応力の更なる向上を図る必要がある。
- ・街頭における犯罪を減らすためには、被害に遭わないよう、防犯意識の向上を図るとともに、防犯カメラの整備を進めることで、犯罪発生の抑止効果を高める必要がある。
- ・放置自転車対策やまちの美化などの環境浄化に関わる各種問題解決に向け、引き続き、地域住民や企業等と協働した取組が必要である。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

自己評価



めざす成果及び戦略 3-1 【地域防災力の向上】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・自助・共助・公助の役割分担のもと、大規模災害時の防災対策が進んでいる状態		戦略<中期的な取組の方向性> ・「地区防災計画」に基づき、区民等一人ひとりが災害時の備えができるよう、各地域での避難所開設運営訓練の充実に取り組む。 ・災害発生時の迅速な対応をめざし、区役所(区災害対策本部)の防災力の更なる強化及び防災関係機関との連携の強化を図る。		
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ※重点目標 ・「地区防災計画」の改定や充実を図りながら毎年、避難所開設運営訓練を実施した地域 全25地域において継続実施				
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須		
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須		
			A:順調 B:順調でない		
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない			

具体的取組3-1-1 【地域自主防災組織の強化】

28決算額 4,750千円 29予算額 4,975千円 30予算額 2,606千円

計画	取組内容 地域自主防災力を強化するため、地区防災計画に基づき、自主防災組織等による避難所開設運営訓練やワークショップの充実を図る。 ・小・中学校への訓練周知及び参加呼びかけ 全小中学校 ・連絡体制の強化等、訓練やワークショップの充実 全地域		業績目標(中間アウトカム) 訓練等が地域防災力の強化・向上につながっていると感じている訓練等の参加者の割合 70%以上 【撤退基準】 上記割合が50%未満であれば、事業を再構築する。	
			前年度までの実績 平成28年度実績 ・避難所開設運営訓練 25地域 平成29年度実績 ・避難所開設運営訓練 25地域	
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①:目標達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性	-	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	



具体的取組3-1-2

【区防災力の強化】

28決算額 ー円 29予算額 ー円 30予算額 ー円

計画	取組内容	区災害対策本部(区役所)における防災力強化を図るため、新たな想定等で職員による災害対策本部の立ち上げ訓練や災害対応訓練等を実施する。 ・区役所動員編成職員対象の全体訓練等の実施 1回	業績目標(中間アウトカム)	訓練等が区の防災力の強化につながっていると感じる訓練等の参加者の割合 70%以上 【撤退基準】 上記目標が50%以下であれば、事業を再構築する。
			前年度までの実績	
			28年度実績	・区役所動員編成職員対象の全体訓練等 1回実施(3月)
			29年度実績	・区役所動員編成職員対象の全体訓練等 1回実施(9月)

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性	-	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績		課題	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(i)取組は予定どおり実施(ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成(i)取組は予定どおり実施(ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性	-	○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組3-1-3

【防災関係機関との連携】

28決算額 ー円 29予算額 ー円 30予算額 ー円

計画	取組内容	災害時の区内防災関係機関(NTT、医師会、医療機関等)とのスムーズな連携をめざし、防災関係機関連絡会等を実施することにより、緊急時のネットワークを構築する。 ・中央区防災関係機関連絡会等の実施 1回	業績目標(中間アウトカム)	連絡会等が災害時の連携に有益であると感じている連絡会等の参加者の割合 70%以上 【撤退基準】 上記目標が50%以下であれば、事業を再構築する。
			前年度までの実績	
			28年度実績	・中央区防災関係機関連絡会等の実施 1回(7月)
			29年度実績	・中央区防災関係機関連絡会等の実施 1回(6月)

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性	-	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績		課題	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		改善策	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(i)取組は予定どおり実施(ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成(i)取組は予定どおり実施(ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性	-	○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	

28決算額 ー円 29予算額 ー円 30予算額 ー円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	災害発生時において、区内の事業所等が有する物的及び人的資源をいかして地域防災力の向上を図るため、行政と事業所等の連携を推進する。	中央区防災パートナー登録企業：5社以上 【撤退基準】登録企業が0社となった場合は再構築を行う。
		前年度までの実績 平成29年度：中央区防災パートナー登録制度要綱制定 中央区防災パートナー登録協議中企業：2社（29年10月末現在）

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	-	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性		○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 3-2 【街頭における犯罪の削減】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・街頭における犯罪が発生しにくい環境が整備されるとともに、区民の防犯意識の向上が図られている状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・街頭における犯罪発生件数の約7割を占める自転車盗の減少を図るため、二重に鍵をかけることの必要性について、「中央区安全なまちづくり推進協議会」を中心とした啓発活動を推進する。 ・また、増加傾向にあるひったくり及び車上ねらいについては、被害に遭わないよう、ひったくり防止カバーや車内カラッポ宣言車シートの普及など防犯意識のより一層の向上に取り組む。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・防犯意識の向上が、安全安心なまちづくりに役立ち、街頭における犯罪の発生抑止につながっていると感じている区民の割合 平成31年度までに50%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須			
	A:順調 B:順調でない			
戦略の進捗状況		a:順調 b:順調でない		

具体的取組3-2-1 【街頭における犯罪発生件数の削減】

28決算額 8,985千円 29予算額 10,137千円 30予算額 8,259千円

計画	取組内容 警察とも連携しながら、街頭における犯罪発生件数の約7割を占める自転車盗対策を推進し、より一層の防犯意識の向上を図る。また、犯罪の発生を抑止するため、防犯カメラを整備する。 ・自転車盗防止啓発キャンペーン及び防犯教室の実施 60回(犯罪多発地域、幼稚園、小学校、中学校等) ・ひったくり防止カバーや車内カラッポ宣言車シートの普及 (ひったくり防止カバー・1,000枚、車内カラッポ宣言車シート600枚) ・防犯カメラの整備 23か所	業績目標(中間アウトカム) 防犯意識が向上したと感じる区民の割合 40%以上 【撤退基準】 上記目標が30%未満であれば、事業を再構築する。
	前年度までの実績	
	平成28年度実績 ・啓発キャンペーン 84回、ひったくり防止カバー 955枚、 車内カラッポ宣言車シート 363枚、防犯カメラの整備 25か所 平成27年度実績 ・啓発キャンペーン 70回、ひったくり防止カバー 847枚、 車内カラッポ宣言車シート 637枚、防犯カメラの整備 110か所	

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	— ○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 3-3 【快適で魅力ある環境の創出】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・まちの清掃・美化活動、放置自転車に対する啓発活動に地域住民や企業等が取り組んでいる状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・まちへの愛着を深め、まちづくりへの参加意識を高めるため、地域住民や商店会、企業等のまちの清掃・美化活動を支援するとともに、新たな担い手を発掘する。また、環境悪化の要因となっている放置自転車への対策として啓発活動等を推進する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・魅力ある環境創出のための活動(清掃活動や放置自転車に対する啓発活動等)を行っている団体数 平成32年度までに平成26年度実績(79団体)の10%増	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
	戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	A: 順調 B: 順調でない		

具体的取組 3-3-1 【まちの美化の促進】

28決算額 1,021千円 29予算額 1,008千円 30予算額 737千円

計画	取組内容 地域住民や企業等がまちの清掃・美化活動に取り組み、啓発等を集中的に行えるよう、地域への積極的な働きかけを実施する。 ・みんなでクリーン！ゆめちゅうおう(環境浄化強化月間)の実施 2回 ・「橋洗いブラッシュアップ大作戦」を実施 5回程度 ・落書き消去活動の支援	業績目標(中間アウトカム) 橋洗いブラッシュアップ大作戦の参加者数 250人以上 【撤退基準】 上記目標が150人未満であれば、事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成29年度実績 ・みんなでクリーン！ゆめちゅうおう(中央区環境浄化強化月間) 2回 ・「橋洗いブラッシュアップ大作戦」 10回(予定) 平成28年度実績 ・みんなでクリーン！ゆめちゅうおう(中央区環境浄化強化月間) 2回 ・「橋洗いブラッシュアップ大作戦」 11回

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組3-3-2

【緑化の推進】

28決算額 862千円 29予算額 846千円 30予算額 400千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	区民一人ひとりに対して、花と緑を増やすことで自分のまちを美しくする意識を醸成するとともに、緑化に関心のある住民同士の交流を促進することで、うるおいのある美しいまちづくりを推進する。	花づくり広場6か所で花の育成等を行う区民ボランティア数:20名以上 【撤退基準】区民ボランティア数が前年度より増えなければ、事業を再構築する。  前年度までの実績 ・緑化講習会等を開催して人材育成を行うなど、新たな参加者を増やす取組を実施 ・花づくり広場6か所で植付け管理を行う区民ボランティア数:15名(29年9月末現在)

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組3-3-3

【自転車利用の適正化】

28決算額 20,091千円 29予算額 9,452千円 30予算額 7,526千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	地域住民・企業等との協働による効果的な啓発手法を検討・実践するとともに、交通安全教室等を通じて自転車利用マナーの向上・道路利用の適正化を図る。 ・中央区放置自転車等対策連絡協議会の開催 1回 ・中央区自転車適正利用のアピール方法検討会の開催 2回 ・ミナミエリアにおける啓発指導員の配置 ・街頭における交通安全キャンペーンの実施 ・学校園等における交通安全教室の実施	自転車利用マナー向上のための啓発活動(ワークショップやサイクルサポーター等)において、駐輪マナーが向上してきていると感じる区民等の割合 70%以上 【撤退基準】 上記目標が、50%未満の場合事業を再構築する。  前年度までの実績 平成29年度実績 ・中央区放置自転車等対策連絡協議会の開催 1回(予定) ・中央区自転車適正利用のアピール方法検討会の開催 2回(予定) ・ミナミエリアにおける啓発指導員の配置 平成28年度実績 ・中央区放置自転車等対策連絡協議会の開催 1回 ・中央区自転車適正利用のアピール方法検討会の開催 2回 ・ミナミエリアにおける啓発指導員等の配置

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組3-3-4

【路上喫煙対策の強化】

28決算額 0円 | 29予算額 0円 | 30予算額 2,500千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	心斎橋筋の長堀橋から戎橋・戎橋筋を通り高島屋前までの一本筋を路上喫煙禁止地区に指定することにより、受動喫煙による健康被害やポイ捨てを防止し、歩行者が快適に通行できる環境を整備する。	今回指定する路上喫煙禁止地区にある商店街関係者が、指定前より喫煙者が減少したと感じる割合50%以上 【撤退基準】 今回指定する路上喫煙禁止地区にある商店街関係者が、指定前より喫煙者が減少したと感じる割合が10%未満の場合、事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成19年4月に路上喫煙の防止に関する条例が施行され、同年7月には御堂筋及び大阪市役所・中央公会堂周辺、平成27年2月には都島区京橋地域がそれぞれ「路上喫煙禁止地区」に指定され、違反者に対する過料徴収が行われている。
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組3-3-5

【特定空家対策の推進】

28決算額 -円 | 29予算額 -円 | 30予算額 -円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	区役所に設置した相談窓口において、関係局と連携しながら保安上危険な特定空家等への助言・指導を行う。	区民から通報・相談のあった空家の調査を実施し、空家の状態に応じて、所有者等に適切な指導を実施 適切な対応件数: 通報・相談のあった全件 【撤退基準】 適切な対応ができなかった案件が発生した場合は再構築を行う。
		前年度までの実績 ・「大阪市空家等対策計画」を平成28年11月に策定 ・「空家等対策中央区アクションプラン」を平成29年4月に策定 平成29年度に区役所へ通報のあった件数: 4件(9月末現在) 平成29年度内に指導の結果、解体により解決に至った件数: 1件(9月末現在)
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)



# 重点的に取り組む主な経営課題

## 経営課題4

## 【子育て環境・教育環境の充実】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

安心して子育てできる環境が整備されて、暮らしやすいまちだと感じている状態  
 子どものための学ぶ環境が整備され、「子どもの学び」を応援するまちになっている状態

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

### ◆中央区の人口の推移（各年3月末現在）

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年（※増加率）
総人口	86,388	89,147	92,779	95,800	97,175（112.5%）
未就学児人口	3,812	4,086	4,382	4,626	4,725（124.0%）
外国人人口	7,404	7,295	7,398	7,600	7,611（102.8%）

※増加率：平成25年度を100とした場合の増加率

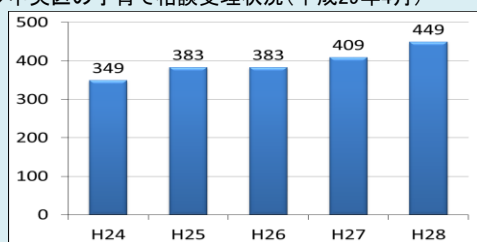
### ◆区内の市立小学校在籍児童数の推移

（学校現況調査・各年5月1日現在）

	平成25年	平成27年	平成29年（※増加率）
	2,292	2,503	2,819（123.0%）

※増加率：平成25年度を100とした場合の増加率

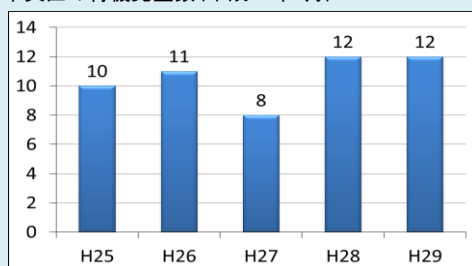
### ◆中央区の子育て相談受取状況（平成29年4月）



### ◆全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動能力8種目合計得点（平成28年度）

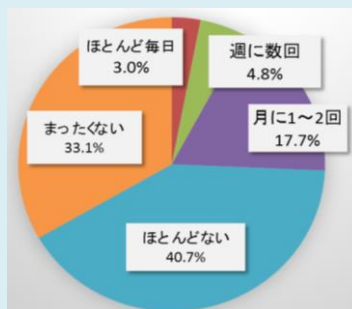
		全国平均	大阪市平均
小学校	男子	53.92	52.61
	女子	55.54	54.30
中学校	男子	42.13	41.25
	女子	49.56	49.20

### ◆中央区の待機児童数（平成29年4月）



### ◆大阪市子どもの生活に関する実態調査（平成28年度）

「おうちの大人のひとと文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をしますか」



要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

- ・中央区の未就学児は年々増加傾向にある。それに伴い、子育て相談の受理件数も増えており、各ステージに応じた子育て支援対策が必要である。また、未就学児の急激な増加に対して、保育ニーズにあった保育サービスが提供できていない状況である。
- ・転入人口の急増や子育てニーズの多様化により、子育て世帯が必要とする情報の発信が十分に行えていない。
- ・市内中心区の人口増加に伴い、区内の子どもの数が増加しており、校舎の増築により運動場の面積が減少している。また、児童急増校について、早急な対策が求められている。
- ・外国籍住民数は増加傾向にあり、また国籍は多岐にわたっている。それに伴い、学校に通う外国にルーツのある子どもが増えている。
- ・子どもの体力については、全国平均と大阪市平均との差は依然として存在している。
- ・子どもが大人と文化活動に親しむ回数については、「月1回以上」が約25%いるのに対し、「ほとんど・まったくない」が約75%と、家庭ごとに大きな差がみられる。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・すべての子育て世帯が安心して子どもを産み、育てられるよう、区民に身近な地域での子育て支援活動を充実させるとともに、区民の様々な保育ニーズに対応した対策が必要である。
- ・子育て世帯を多面的に支援するため、関係機関と連携して子育て情報を積極的に発信する必要がある。
- ・分権型教育行政を推進し、教育委員会・学校園と密な連携を図ることで、子どもの学力・体力・学習環境の向上をめざす。
- ・発達障がい等の子ども、日本語学習支援を必要とする子ども、放課後学習支援を必要とする子どもなど、さまざまなニーズに応じ、区内の子どもの学びを支援する。
- ・学校園のニーズに応じ、区の特性や強みを活かした教育支援を行い、学校園の取組や子どもの学びを支援する。
- ・児童急増校について、地域の実情や学校関係者の意見等を踏まえ、早急に対策を立てる必要がある。
- ・様々な体験学習の機会の提供を通じて、子どもの生きる力を育み、子どもが前向きに肯定的な自分づくりができる支援を行う。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 4-1 【乳幼児期の子育て支援】

計画	めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定> ・子育てに課題や不安、悩みを抱える人たちが、地域において、いつでも気軽に相談できる状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・子育て支援室など、様々な課題やニーズに即した相談・支援体制を強化するとともに、地域主体の取組を支援する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・子育てが地域の人に(もしくは社会で)支えられていると感じる保護者の割合 平成31年度までに70%以上 ・持続的に待機児童が解消している状態	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
	戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	A: 順調 B: 順調でない		

具体的取組4-1-1 【子ども相談援助による子育て支援】

28決算額 ー円 29予算額 ー円 30予算額 ー円

計画	取組内容 ・保育士、保健師、家庭児童相談員、臨床心理士、栄養士などの専門職を配置するとともに、こども相談センター職員とも連携し、子育て相談内容に応じた支援を行う。 ・虐待通告を受理した際には、緊急度や重症度に応じてこども相談センターと連携し、速やかに児童の安全確認を行う。 ・障がい相談や育成相談に対しては、家庭児童相談員が必要に応じて子育て支援関係機関と連携し、相談内容に応じた支援を行う。 ・子育て支援関係機関がスムーズに連携できるよう、月1回開催する要保護児童対策地域協議会実務者会議や、必要に応じて随時開催する個別ケース検討会議等において情報共有を図る。  ・家庭児童相談員(Ⅰ)1名、(Ⅱ)1名を配置(平成29年度～) ・要保護児童対策地域協議会実務者会議:年12回 ・個別ケース検討会議:随時 ・子育て支援専門部会(地域支援調整チーム):年3回	業績目標(中間アウトカム) 子育て支援専門部会のメンバーに対するアンケートで区の保健福祉センター(子育て支援室等)がこども相談援助の機能を果たしていると答えた人の割合:70%以上 【撤退基準】 上記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。
	前年度までの実績 平成28年度実績 ・要保護児童対策地域協議会実務者会議:年12回 ・個別ケース検討会議:年45回 ・子育て支援専門部会:年4回 平成27年度実績 ・要保護児童対策地域協議会実務者会議:年12回 ・個別ケース検討会議:年45回 ・子育て支援専門部会:年4回	

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込)(i)取組は予定どおり進捗(ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施(ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施(ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組4-1-2

【待機児童解消に向けた保育サービスの充実】

28決算額 ー円 29予算額 ー円 30予算額 ー円

計画	取組内容	待機児童の解消に向けて、それぞれの保育ニーズに応じた相談や情報提供を行う。(愛称「保育コンシェルジュ中央区」) ・保育サービス専門相談員の配置 1名 ・認可保育所・小規模保育事業所の新規開設に向けた調整 1か所以上(こども青少年局と連携) ・「(仮称)中央区保活応援ひろば」(合同説明会)の開催 1回	業績目標(中間アウトカム) 保育サービス専門相談員による相談等の対応件数 500件以上【撤退基準】 上記目標が300件未満であれば、事業を再構築する。 前年度までの実績 平成28年度実績 ・保育サービス専門相談員による相談等の対応件数 750件 ・認可保育所等の新規開設に向けた調整 5か所 平成27年度実績 ・保育サービス専門相談員による相談等の対応件数 516件 ・認可保育所等の新規開設に向けた調整 3か所
	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	
中間振り返り	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	

具体的取組4-1-3

【子育て情報の発信】

28決算額 ー円 29予算額 ー円 30予算額 ー円

計画	取組内容	地域で実施されている子育て支援の取組に参加する機会の提供や、地域で子育てについて相談しやすい環境を整えるなど、子育て層を多面的に支援するため、関係機関と連携して子育て情報を積極的に発信する。 ・保育サービスに関する情報発信(広報紙:年2回、ホームページ:年12回) ・子育て情報マップ「てくてくナビ」の作成(日本語版:5,000部、英語版:500部) ・子育て情報誌(民間発行)への子育て情報記事の提供(年2回以上) ・子育て情報をツイッターで適宜発信(年間200件以上) ・地域ふれあい子育て教室等の開催(年50回以上) ・地域子育てサークルでの情報発信(年6回以上) ・「わいわいねっと」新聞(中央区子ども子育てプラザ発行)への記事の掲載(年12回)	業績目標(中間アウトカム) 子育て情報が役に立ったと答えた保護者の割合:80%以上【撤退基準】 子育て情報が役に立ったと答えた保護者の割合が60%以下であれば、事業を再構築する。 前年度までの実績 平成28年度実績 ・保育サービスに関する情報発信(広報紙:年2回、HP:年12回) ・「てくてくナビ」の作成(日本語版:5,000部、英語版:500部) 平成27年度実績 ・保育サービスに関する情報発信(広報紙:年1回、HP:年1回) ・「てくてくナビ」の作成(日本語版:5,000部、英語版:500部)
	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	
中間振り返り	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)	

28決算額 ー 円 | 29予算額 ー 円 | 30予算額 ー 円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	子育てに不安や悩みを抱える人を支援するため、地域主体の子育て応援団の取組が充実するよう支援する。 ・ミニ講座等の実施 13地域		地域主体の子育て応援団の取組に満足している参加者の割合 80%以上 【撤退基準】 上記目標が60%未満であれば、事業を再構築する。	
			前年度までの実績 平成28年度実績 ・ミニ講座等の実施 13地域 平成27年度実績 ・ミニ講座等の実施 12地域	
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性			
		○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)		
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性				
		○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)		

めざす成果及び戦略 4-2 【子どもの学びと成長を応援するまちづくりの推進】

計画	めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定> 区内学校園、子ども・保護者や地域住民のニーズを把握し、学校園と連携しながら、子どもの教育支援、健全育成が行われている状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・学校園のニーズに応じ、区の特長や強みを活かした教育支援を行い、分権型教育行政を推進し、学校園の取組や子どもの学びを支援する。 ・学校園・地域・家庭と連携しながら、様々な体験学習の機会を充実させ、子どもの生きる力を育成する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> 分権型教育行政の推進により ・自校において、学校の実情に応じた教育が行われ、教育内容がより充実したと感じる区内小・中学校長の割合 平成32年度までに50%以上 ・委員を務める学校において、学校の実情に応じた教育が行われ、教育内容がより充実したと感じる区内小・中学校の学校協議会委員 平成32年度までに50%以上 ・区内において、学校、地域の実情に応じた教育が行われたと感じる「保護者・区民等の参画のための会議」の委員の割合 平成32年度までに50%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a: 順調 b: 順調でない	
		A: 順調 B: 順調でない	

具体的取組 4-2-1 【分権型教育行政の効果的な推進】

28決算額 ー円 29予算額 ー円 30予算額 ー円

計画	取組内容 保護者や地域住民の学校教育への参画を進め、その意向を学校運営に反映し、地域の特性を活かした学校教育を推進する。また、分権型教育行政の効果的な推進に向けて、具体的な取組を進める。 ○分権型教育行政の推進 ・教育会議の開催 1回以上 ・区教育行政連絡会の開催:小中学校 各3回、幼稚園 1回 ・区内18校園(幼・小・中・高)の学校協議会への職員の出席 各3回 ○分権型教育行政の理解促進に向けた取組 ・教育委員会事務局兼務の区職員対象の研修 1回 ・区教育行政連絡会で小・中学校長向けの研修 1回	業績目標(中間アウトカム) 分権型教育行政の推進により ○ 自校において、学校の実情に応じた教育が行われ、教育内容がより充実したと感じる区内小・中学校長の割合 ○ 委員を務める学校において、学校の実情に応じた教育が行われ、教育内容がより充実したと感じる区内小・中学校の学校協議会委員の割合 ○ 区内において、学校、地域の実情に応じた教育が行われたと感じる「保護者・区民等の参画のための会議」の委員の割合 平成30年度 30%以上 【撤退基準】 20%に達しなかった場合は、事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成29年度実績 ・教育会議の開催 1回(予定) ・区教育行政連絡会の開催 小中学校 各3回(予定)、幼稚園 1回(予定) ・区内18校園の学校協議会への職員の出席 各3回(予定) ・教育委員会事務局兼務の区職員対象の研修 1回(予定) ・区教育行政連絡会で小・中学校長向けの研修 1回(予定) 平成28年度実績 ・教育会議の開催 年1回 ・区教育行政連絡会の開催:小中学校 各2回 ・区内18校園(幼・小・中・高)の学校協議会への職員の出席 各3回

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)



28決算額 3,961千円 29予算額 4,209千円 30予算額 4,590千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	<p>学校園のニーズに応じ、区の特性や強みを活かした教育支援を行い、学校園の取組や子どもの学びを支援する。</p> <p>○発達障がいサポート事業・外国籍児童生徒サポート事業の実施 発達障がい等の行動面で支援が必要な子ども、また学習面で特に日本語の支援が必要とされる子どもに対し、サポーターを配置し適切な支援を行う。</p> <p>○子どもの英語力向上支援事業、体力向上支援事業の実施 学校園のニーズに応じ、区内小学校において民間事業者による出張授業を行うとともに、中学校で英検受験料の助成を行う。</p> <p>○民間事業者を活用した課外学習支援事業（寺子屋ちゅうおう）の実施 学習塾等の民間事業者と協定を結び、事業者が公共施設等を活用し中学生の課外学習を支援することにより、中学生の学力の底上げを図る。また、受講者が大阪市塾代助成事業を活用することにより、選択できる学校外教育の幅を更に広げるとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。</p> <p>○教育環境の改善 児童急増校の対策については、地域の実情を踏まえるとともに、地域や学校関係者の意見等が反映され教育環境の改善に繋がるよう関係局に働きかける。</p>	<p>・発達障がいサポート事業・外国籍児童生徒サポート事業 事業が対象の子どもにとって有効と感じている学校園の割合 70%以上</p> <p>・子どもの英語力向上支援、体力向上支援事業 事業を活用し、英語力向上、体力向上の取組が学校の教育力向上に役立ったと感じる学校長の割合 50%以上</p> <p>・民間事業者を活用した課外学習支援事業（寺子屋ちゅうおう） 受講前より学校の授業がわかるようになったと回答した受講者の割合 50%以上</p> <p>【撤退基準】 上記目標の30%以下の場合事業を再構築する。</p>
	前年度までの実績	<p>・発達障がいサポート事業 平成29年度実績 小学校7校、中学校2校 サポーター数37名（29年9月末現在） 平成28年度実績 小学校7校、中学校3校 サポーター数36名</p> <p>・外国籍児童生徒サポート事業 平成29年度実績 小学校6校、中学校1校 サポーター数22名（29年9月末現在） 平成28年度実績 小学校6校、中学校2校、サポーター数36名</p> <p>・民間事業者を活用した課外学習支援事業（寺子屋ちゅうおう） 平成29年度実績 8月より30回実施（予定）</p>

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<p>①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない</p> <p>③: 撤退基準未達成</p>	
	<p>戦略に対する取組の有効性</p> <p>○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)</p>	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<p>①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>③: 撤退基準未達成</p>	
<p>戦略に対する取組の有効性</p> <p>○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)</p>		



具体的取組4-2-3

【青少年の健全育成】

28決算額 2,514千円 29予算額 2,208千円 30予算額 2,202千円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	次世代を担う青少年の健全育成に向け、スポーツ・体験活動等を実施する。 ・青少年指導員によるスポーツ・体験活動 10地域 各1回 （野外活動・ボランティア活動・スポーツ活動など） ・青少年指導員研修の実施 1回 ・青少年指導員活動の広報 2回以上 ・青指指導ルーム 10回 ・区一斉夜間パトロール 2回		体験活動に参加してよかったと感じる者の割合 80%以上 【撤退基準】 上記目標が60%未満であれば、事業を再構築する。	
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成			
自己評価	戦略に対する取組の有効性		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)			
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
自己評価	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成			
自己評価	戦略に対する取組の有効性		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)			

めざす成果及び戦略 4-3 【多様な「ひと・まち・まなび」を尊重する社会づくり】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> 区民が自らの学びを育むことにより、まちへの愛着や誇りが高まり、多様性が尊重されるまちづくりが進んでいる状態		戦略<中期的な取組の方向性> 自らの学びが支援され、多様性が尊重されることにより、心豊かに暮らせる環境づくりに取り組む。	
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> 歴史・文化、まちづくり等について学びが深まることで、区民の交流が進み、心豊かで生きがいのあるまちづくりにつながっていると感じる区民が増えていると感じる人権啓発推進員と生涯学習推進員の割合 平成32年度までに60%以上			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須			
	A:順調 B:順調でない			
戦略の進捗状況		a:順調 b:順調でない		

具体的取組4-3-1 【まちの歴史・文化を活かした生涯学習の推進】

28決算額 2,997千円 29予算額 3,000千円 30予算額 2,930千円

計画	取組内容 伝統芸能を中心とした文化の鑑賞や体験教室、ワークショップを開催することで、地域に根差した学びと行動が循環する生涯学習のさらなる活性化を図り、まちへの愛着につなげていく。 ・伝統芸能の実演・解説・体験・連続講座等の実施 4回		業績目標 (中間アウトカム) 伝統芸能に関する事業が中央区の歴史・文化への関心を深めたと感じている参加者の割合 60%以上 【撤退基準】 上記目標が30%未満であれば、事業を再構築する。	
			前年度までの実績 平成29年度実績 ・伝統芸能等の実演・解説・体験等の実施 3回(予定) 平成28年度実績 ・伝統芸能等の実演・解説・体験等の実施 3回	
中間振り返り	業績目標の達成状況	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)		
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)		

28決算額 320千円 29予算額 408千円 30予算額 332千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	市民ひとりひとりの生きがいづくりや自己実現を支援するとともに、「たがやす」、「かかわる」、「つくる」生涯学習を循環させ、豊かな地域づくり、コミュニティづくりに資するよう、市民の生涯学習を推進する。 ・生涯学習ルーム交流会の実施 1回 ・生涯学習フェスタの実施 1回 ・生涯学習ルームギャラリー展 1回	生涯学習ルーム交流会の入場者数 150人以上 【撤退基準】 上記目標が達成できない場合は、事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成29年度実績 ・生涯学習ルーム交流会 1回(予定) ・生涯学習フェスタ 1回 ・生涯学習ギャラリー展 1回(予定) 平成28年度実績 ・生涯学習ルーム交流会 1回 ・生涯学習フェスタ 1回 ・生涯学習ギャラリー展 1回

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

28決算額 1,056千円 | 29予算額 1,095千円 | 30予算額 970千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	LGBTへの正しい知識と理解を深めるなど、互いの違いを認め合い、多様性が尊重されるよう、すべての人にとっていきいきと暮らせる社会につながる事業を実施する。 ・憲法週間パネル展 1回 ・区人権啓発推進員学習会 1回 ・子ども、親子向け人権啓発事業 1回 ・区民まつりにて人権啓発チラシの配布 1回 ・区民まつりにて人権啓発コーナーの設置 1回 ・街頭啓発 1回 ・講演会 1回 ・人権週間パネル展 1回	人権啓発事業の参加者のうち、人権問題への関心や意識を高めるうえで役立ったと思う人の割合 60%以上 【撤退基準】 上記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。 前年度までの実績 平成29年度実績 ・憲法週間パネル展 1回 ・区人権啓発推進員学習会 1回 ・子ども、親子向け人権啓発事業 1回 ・区民まつりにて人権啓発のチラシ配布 1回 ・区民まつりにて人権啓発コーナーの設置 1回 ・街頭啓発 1回(予定) ・講演会 1回(予定) ・人権週間パネル展 1回(予定) 平成28年度実績 ・憲法週間パネル展 1回 ・区人権啓発推進員学習 1回 ・子ども、親子向け人権啓発事業 1回 ・区民まつりにて人権啓発チラシの配布 1回 ・街頭啓発 1回 ・講演会 1回 ・人権週間パネル展 1回

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性 ○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)	

# 重点的に取り組む主な経営課題

## 経営課題5

### 【いきいきと健やかに暮らしやすいまちづくりの推進】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

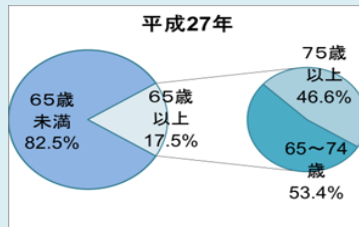
高齢者や障がい者など支援を必要とする方々が、地域で安心して暮らせるまちだと感じている状態

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

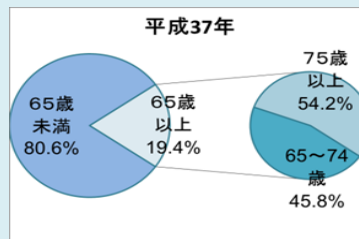
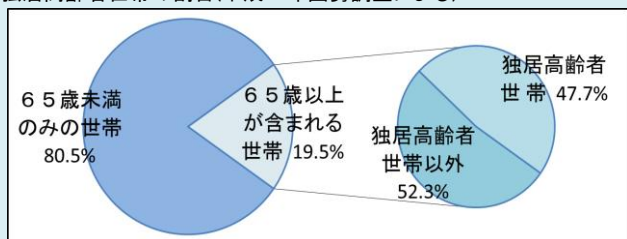
#### ◆中央区の人口の推移（各年3月末現在）

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
総人口	86,388	89,147	92,779	95,800	97,175
65歳以上人口	14,104	14,726	15,246	15,575	15,876

#### ◆中央区における後期高齢者の割合（平成26年8月推計）



#### ◆独居高齢者世帯の割合（平成27年国勢調査による）



#### ◆がんによる死亡率（平成27年・人口10万人当たり）

	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん
中央区	27.9	26.9	36.5	6.1	9.7
大阪市	38.5	42.5	68.2	8.6	10.1

#### ◆中央区におけるがん検診・特定健診の受診率（平成28年度受診率）

	胃がん検診	大腸がん検診	肺がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診	特定健診※
中央区	3.8	6.9	5.5	17.5	14.5	18.8
大阪市	3.5	7.8	5.8	15.2	13.4	20.1

※特定健診の受診率：平成29年7月現在集計分

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

- ・中央区の世帯のうち、65歳以上が含まれる世帯は全体の約2割となっている。65歳以上が含まれる世帯のうち、独居高齢者の割合は5割弱と高く、孤立させない取組が不足している。
- ・団塊の世代が平成37年には後期高齢者（75歳以上）となり、医療処置を必要とする高齢者が増加するとともに、看取り難民が急増する見込みである。
- ・平成27年の各種がんによる死亡率において、大阪市平均の数値との比較では、すべてのがんにおいて低くなっているが、乳がんによる死亡率は比較的高い数値に止まっており、がんの早期発見に向けた取組が十分とはいえない状況である。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・高齢者が孤立せず、住み慣れたまちで安心して暮らし続けることができる取組を推進する必要がある。
- ・団塊の世代が75歳以上となる平成37年を目途に、高齢者や介護を必要とする方が住み慣れた地域で必要な医療・介護サービスを受けながら安心して暮らせる環境として、地域包括ケアシステムを構築していく必要がある。
- ・健康的な生活を営めるよう、がんの早期発見・生活習慣病の予防に向けて、検診の受診率を向上させていく必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括



めざす成果及び戦略 5-1 【要援護者の把握・見守りの強化】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・高齢者や障がい者等をはじめとする要援護者について多方面から包括的に見守りができている状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・高齢者や障がい者等誰もが安心して暮らしていけるよう、要援護者の把握を進めるとともに、地域や関係機関との協働により様々な見守り活動を展開する。
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・高齢者・障がい者等が安心して暮らし続けることができると感じる区民の割合 平成30年度以降80%以上を維持	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
		A:順調 B:順調でない	
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	

具体的取組5-1-1 【地域における要援護者の見守りネットワークの強化】

28決算額 ー円 29予算額 ー円 30予算額 ー円

計画	取組内容 3年計画で行ってきた「要援護者名簿」の整備について、今後は、未回答者及び新規対象者への同意確認の取組に重点を置くとともに、地域や関係機関と連携して要援護者に対する家庭訪問等を行うなどにより、「声かけ」「見守り」「助け合い」「支え合い」による地域の見守り活動の強化を図る。 ・名簿掲載への同意に向けた3つの取組 対象者への文書送付（新規分）350人 未回答の対象者への調査員訪問 同意を得られなかった対象者への見守り支援ネットワークカー訪問 ・孤立世帯等への専門的対応 ・「認知症高齢者見守りネットワーク」構築による徘徊者保護の強化	業績目標（中間アウトカム） 「要援護者名簿」への掲載にかかる同意者数（新規分）対象者の30%以上 【撤退基準】 上記目標が20%未満であれば、事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成28年度実績 ・対象者への文書送付 1,005人 「要援護者名簿」への掲載にかかる同意者数 557人 平成27年度実績 ・対象者への文書送付 1,733人 「要援護者名簿」への掲載にかかる同意者数 716人

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)

28決算額 17,532千円 | 29予算額 17,974千円 | 30予算額 18,863千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	見守り活動を強化するため、地域や関係機関と連携して「声かけ」「見守り」「助け合い」「支え合い」を進め、新規の対象者を把握する。また、研修会等で地域福祉コーディネーターのスキルアップを図る。 ・研修会の開催 4回 ・活動報告会の開催 12回 ・地域福祉コーディネーターによる新規の見守り対象者数 100人以上	地域福祉コーディネーターが受け付けた相談件数 6,500件 【撤退基準】 上記目標が平成28年度実績(6,405件)の20%減(5,124件)以下であれば、事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成28年度実績 ・研修会の開催 7回 ・活動報告会の開催 12回 ・地域福祉コーディネーターによる新規の見守り対象者数 316人 ・相談件数 6,405件 平成27年度実績 ・研修会の開催 7回 ・活動報告会の開催 12回 ・地域福祉コーディネーターによる新規の見守り対象者数 205人 ・相談件数 4,651件

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

めざす成果及び戦略 5-2 【地域で健康に暮らせる環境づくりの充実】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・健康的な生活を維持でき、高齢になっても安心して地域で暮らせる支援体制が充実している状態	戦略<中期的な取組の方向性> ・高齢者等が地域で安心して生活できるよう、在宅医療と介護との連携に関する取組を推進するとともに、第一位の死因であるがんの早期発見を支援し、早期治療につなげる。		
	アウトカム<めざす状態を数値化した指標> ・健康的な生活を維持でき、高齢になっても安心して地域で暮らせる支援体制が充実してきていると思う区民の割合 平成31年度までに50%以上			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	A:順調 B:順調でない			
	戦略の進捗状況	a:順調 b:順調でない	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	

具体的取組5-2-1 【在宅医療・介護ネットワークの充実】

28決算額 519千円 29予算額 497千円 30予算額 462千円

計画	取組内容 区民や関係者に対して、在宅医療と介護との連携の必要性を啓発するとともに、区内の関係施設等の資源を検索しやすくするなど、実際に役立つ施策に取り組む。 ・在宅医療・介護連携推進協議会の開催 2回 ・在宅医療・介護連携施設マップシステムの更新 ・区民向け講演会、関係者向け研修会の開催 各1回 ・健康展における啓発活動	業績目標(中間アウトカム) 在宅医療と介護との連携の必要性が理解できた研修会参加者の割合70%以上 【撤退基準】 上記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成29年度予定及び平成28年度実績 ・在宅医療・介護連携推進協議会の開催 2回 ・在宅医療・介護連携施設マップシステムの更新 ・区民向け講演会、関係者向け研修会の開催 各1回 ・健康展における啓発活動
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)

具体的取組5-2-2

【健康づくりの促進】

28決算額 120千円 29予算額 126千円 30予算額 110千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	生活習慣を見直し、健康づくりを促進することを目指して、医師会等の関係機関と連携し、協働して健康展を開催するなど、区民への啓発に取り組む。 また、地域への「いきいき百歳体操」の普及を図り、介護予防や健康づくりに資する住民主体の通いの場づくりへの支援を行う。	健康展の参加者へのアンケートにより生活習慣を見直すなど、自身の健康管理に取り組もうとする割合が70%以上
	・健康展の開催 1回 ・「いきいき百歳体操」の普及支援	【撤退基準】 上記目標が50%未満であれば、事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成29年度予定及び平成28年度実績 ・健康展の開催 1回 ・「いきいき百歳体操」の普及支援

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)

28決算額 - 円 29予算額 - 円 30予算額 - 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	がんの早期発見・生活習慣病の予防に向けて、がん検診・特定健診の受診率向上を図るため、区広報紙による日程案内やホームページによる予約状況などの情報提供のほか、総合がん検診日程を設定して1日で全てのがん検診を受診できる環境を整えるとともに、イベントなどを通じて受診啓発を行う。  ・区広報紙による日程案内 月1回 ・ホームページによる予約状況案内 月2回 ・総合がん検診日程設定 2回 ・特定健診の実施 9回 ・健康展等での啓発活動 ・予約キャンセル者への受診勧奨	すべてのがん検診・特定健診において市平均の受診率を上回る受診率を達成する。 <b>【撤退基準】</b> 上記目標のすべての検診項目において市平均を下回れば、事業を再構築する。  前年度までの実績 平成29年度予定及び平成28年度実績 ・区広報紙による日程案内 月1回 ・ホームページによる予約状況案内 月2回 ・総合がん検診日程設定 2回 ・特定健診の実施 9回 ・健康展での啓発活動 ・予約キャンセル者への受診勧奨

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成	
戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成	
戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す —: 中間アウトカム未設定(未測定)	